社会福祉協議会として地域に根ざした事業を推進していくために、各事業所内の職員で話し合うとともに、事業所責任者会議・主任会議などで検討を重ねながら情報の共有を図り、事業推進に努めてまいりました。

特に、29年度から新たに開始した「小規模保育事業」や収益事業としての「健康増進事業」については、まずは、堅実な運営をすることに注力してあたってきました。

## ① 地域福祉部門

平成29年度は、前年度に作成した社協活動を紹介する DVD を活用して福祉地域座談会を開催し、新規事業についても知っていただく機会ともなり、住民の皆さんと意見交換を行うことができました。

以前から、地域における支え合い体制づくりを進めることに力をいれてきていますが、年度途中から鳥取県社協からの委託を受けて「あったかハートおたがいさま事業」に取り組むなど、地域での見守りなど支えあい体制の一層の強化を目指して住民の皆さんの主体的な活動を支援していくことに努めてきました。

また、9月に開催した「ふくしの集い」では、近年、各地で多くの自然 災害が発生し、人と人とのつながりによる「助けあい」の大切さが再認識 されている中、災害発生時に集落でできることや自分や家族等の身の守り 方などについて専門家を招いて話を聞きました。日頃からの声かけや見守 りが災害時に大きな力を発揮することを改めて学びました。

愛の輪推進会議は、今年も小学校区ごとに開催しました。会議は、少人数で発言しやすい雰囲気づくりをこころがけ、地区ごとに抱えている課題についてどのように解決していくのがよいか、各福祉委員の日頃の活動内容を発表していただきながらともに考えることができました。

また、本年度も町から委託を受けて独居及び高齢者のみの世帯で日常生活・心身の状況等の把握を必要とする高齢者について訪問介護員等による実態把握と、気になる方に対しての見守りを行うとともに、町内の独り暮らし高齢者宅への友愛訪問も継続して実施しました。

地域のなかで相談を受けたときには、その内容によっては行政などの関係機関につなぐなど、「住み慣れた場所で、ささえあい安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、社会福祉協議会としての役割を正しく理解しながら活動を行ってきました。

## ② 介護サービス部門

厳しい経営状況が続いている中、平成29年度は天候等による事業所が開所できなかった日もなく、また町内他の通所施設の体制変更により利用者が、当法人の事業所に移動してきたことなどから利用者数が増え、近年にない好業績となりました。

利用者が増えたことにより、職員体制は厳しい状況でしたが、在籍する職員全員の努力により利用者の皆さまに安心して利用していただくこと

ができたと認識しています。

総じて介護施設では人材確保が困難になってきている状況にありますが、当事業所においては、引き続き職員の資格取得を勧奨しながら人材確保と資質向上を図っていきたいと考えています。

## ③ 小規模保育事業部門

平成29年度から33年度までの5年間、伯耆町指定管理事業として「小規模保育所こどもパル」の管理運営を行うこととなりました。

29年度は、開所初年度ということで、事業所運営については、町から経験を積んだ保育士3名の派遣をしていただいたこともあって、概ね安定した運営を行うことができたと考えています。

保育目標を、1人ひとりの子どものありのままの姿を受けとめ、共感しながら信頼関係を築くことや、保育者は、気持ちにゆとりを持ち、和やかな雰囲気をつくることなど、低年齢児の少人数保育という小規模保育所の特性を生かしながら保育を行うことに置いて実践し、概ねその目標は達成できたと考えています。

課題としては、昨今の保育士不足の中で、短時間のパート保育士の確保 に苦労をし、そのしわ寄せが常勤保育士に及んでしまったことがあるが、 今後、解消できるよう努めていきたい。

保護者との信頼関係については、ほとんどの保護者から少人数保育所であることで、子どもの発達に対する好意的な意見や職員への信頼などの意見をもらうことができたことから、概ね良好な関係を築くことができたと考えている。

## ④ 健康增進事業部門

平成29年度から、伯耆町により策定された「ほうき健康経営プロジェクト」に沿って、当法人が事業主体となって、収益事業としての健康増進事業を開始いたしました。

「フィットネス&スタジオ パル」と命名された、このクラブを活用して町民の主体的な健康増進への業務の一端を当法人が担うこととなりました。

事業開始初年度としては、特に自立・健全な経営をするために必要不可欠である財源確保(会費収入等)のための、会員の加入促進と退会抑制を 最重点課題として、様々な事業を展開してきました。

中でも、スタジオレッスンのスキルアップや、認知度アップのためのイベント開催、また会員さんに直接のトレーニングアドバイス等を積極的に行い、会員の皆さんが、家族的な雰囲気の中で、楽しく安全に健康づくりを楽しんでいただけるよう取り組んできました。

そのための、スタッフ研修や、常に新たなプログラムの習得などに怠る ことなく取り組むとともに、会員を対象としたアンケート調査を2回実施 し、満足度やニーズを把握しながらサービス向上に努めてきました。

初年度としては、まずは順調なスタートを切ることができたと考えています。